

フェアトレードの 広がりと効果

モニタリング・レポート第17版



フェアトレードについて

フェアトレード・インターナショナルは、非営利のマルチステークホルダー組織で、国際貿易における公平さ、小規模農家や労働者のエンパワメント、および持続可能な生活を促進しています。

フェアトレード・インターナショナルは、国際的合意を得た国際フェアトレード基準を策定・維持するとともに、フェアトレード商標権者として、国際フェアトレード認証制度を支援しています。200万人以上の農家と労働者を代表する3つの地域のフェアトレード生産者ネットワーク団体が国際フェアトレード認証制度を共同所有しており、この制度には独立認証機関FLOCERTおよび25ヶ国以上で企業と消費者にフェアトレードを推進する各国フェアトレード機関も含まれています。

詳しくは、www.fairtrade.net/enをご覧ください。

このレポートについて

フェアトレード・インターナショナルは、フェアトレードが農家や労働者と、そのコミュニティにとってどのような効果を与えるかについて、毎年データを公表しています。

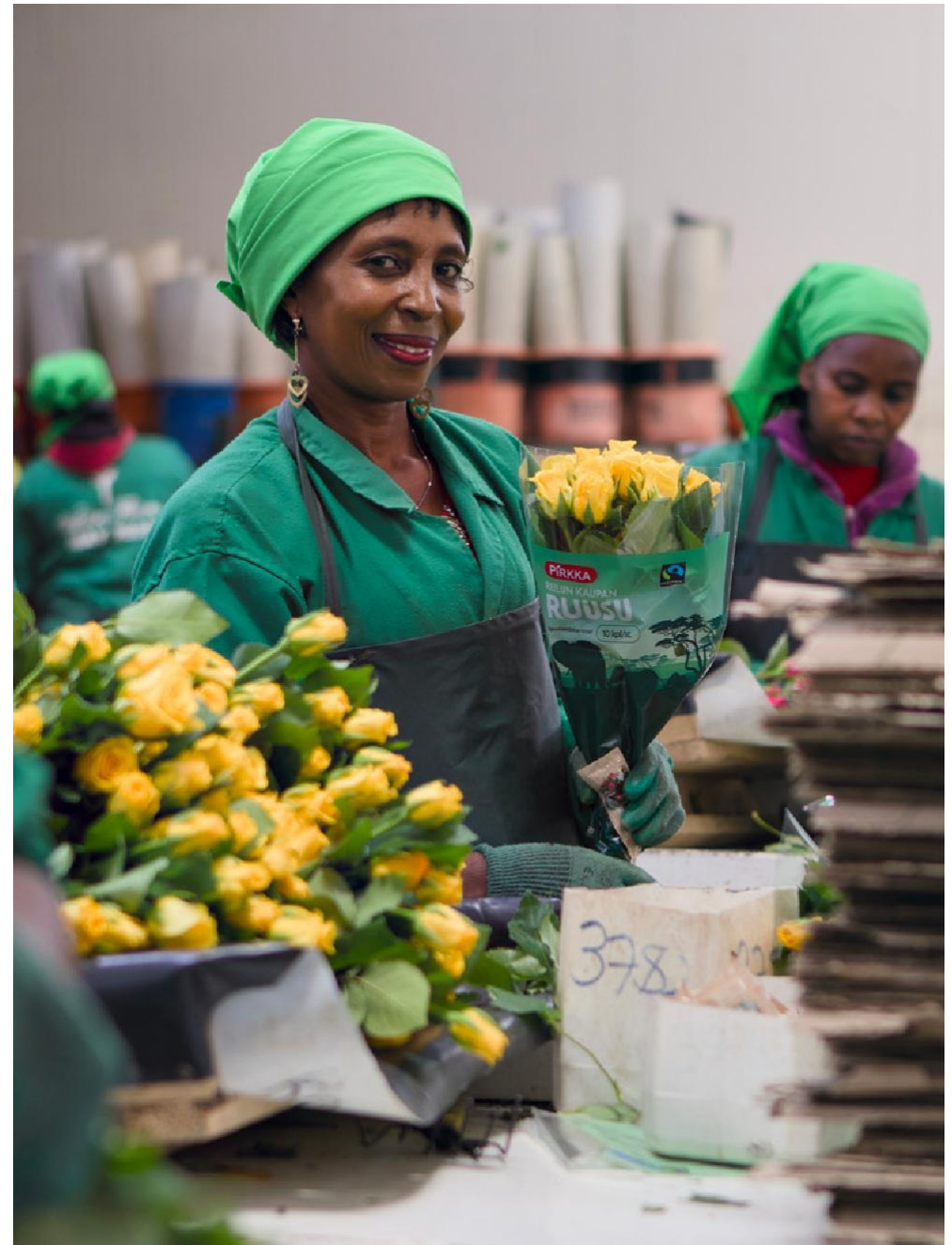
このレポートは、別途記載のない限り、2024年モニタリングデータの概要を示しています。レポートで使用したデータソースの説明は、26ページにあります。

産品別の追加データについては以下のURLをご覧ください。

www.fairtrade.net/en/why-fairtrade/impact

表紙写真：
アマゾン原産のクリオロ種のカカオを栽培している
エンリケ・ガブリエル・エルナンデス・バスケスさん

本ページ：
Wildfire Flowers 農場で働く
ヴェロニカ・コイナさん





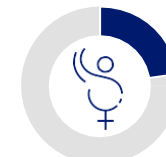
フェアトレード認証
生産者組織で活動する
農家・労働者の数は

約 **200万人**

フェアトレード
に関わる
女性の割合



農家の
23%



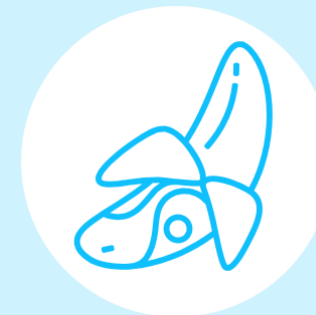
39万2千人以上の
女性農家が参加

労働者の
40%



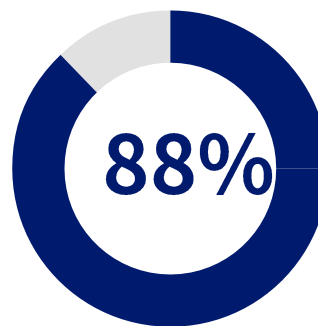
7万7千人以上の女性が
フェアトレード農園で働く

フェアトレード認証の上位6産品における**有機栽培**の割合



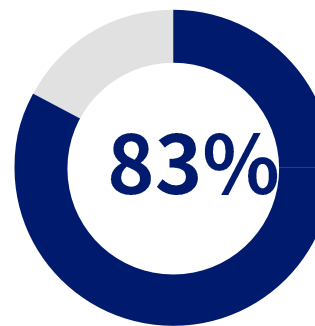
販売量のうち **46%**

生産量のうち **36%**



フェアトレード農家全体のうち

- ・ 40%がコーヒーを生産
- ・ 30%がカカオを生産
- ・ 18%が茶を生産



フェアトレード労働者全体のうち

- ・ 41%が花・植物を生産
- ・ 27%が茶を生産
- ・ 15%がバナナを生産

2024年現在

※1 農家は小規模生産者組織（SPO）に属する農業で生計を立てている世帯、労働者は雇用労働生産組織（HLO）に雇用されて働く人を示す。

※2 販売量はフェアトレード産品の生産量のうち、フェアトレード・プレミアムの保証などフェアトレードの条件で売買された量を示す。

330億円 (201.6 ミリオンユーロ)

2024年に生産者に
支払われた
フェアトレード・
プレミアムの金額

※ユーロベースで算出



小規模生産者組織が
受け取る
フェアトレード・
プレミアムの

76% を

農家に経済的利益をもたらすことを
目的に活用している



小規模生産者組織は
生産や農業慣行の改善
にフェアトレード・
プレミアムの

35% を投資

19% を農家の金銭的利益へ充てている

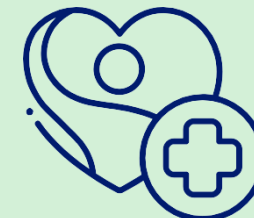


フェアトレード認証農園の労働者は

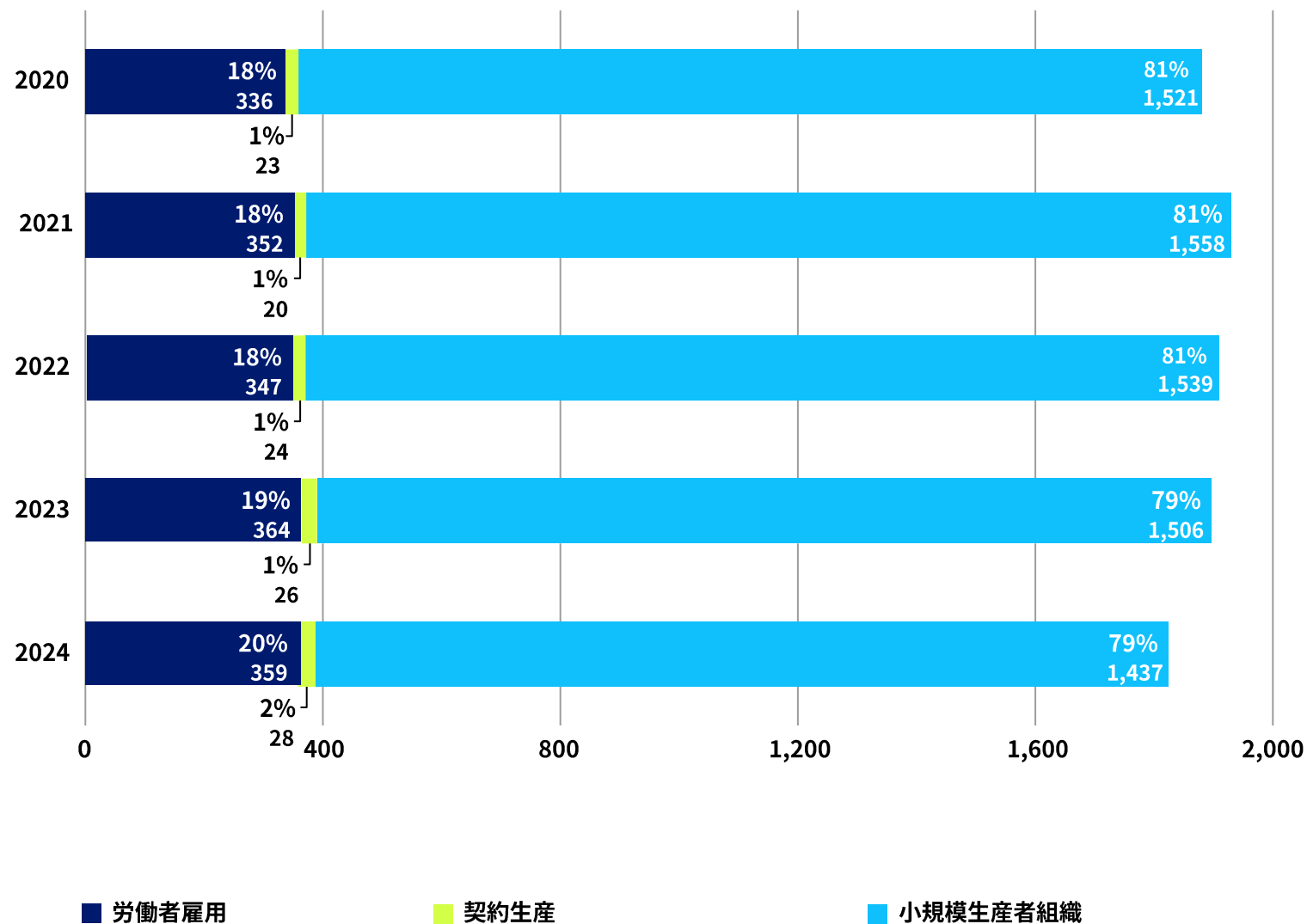
67%

を教育、医療、住宅等の
社会的分野への投資に、

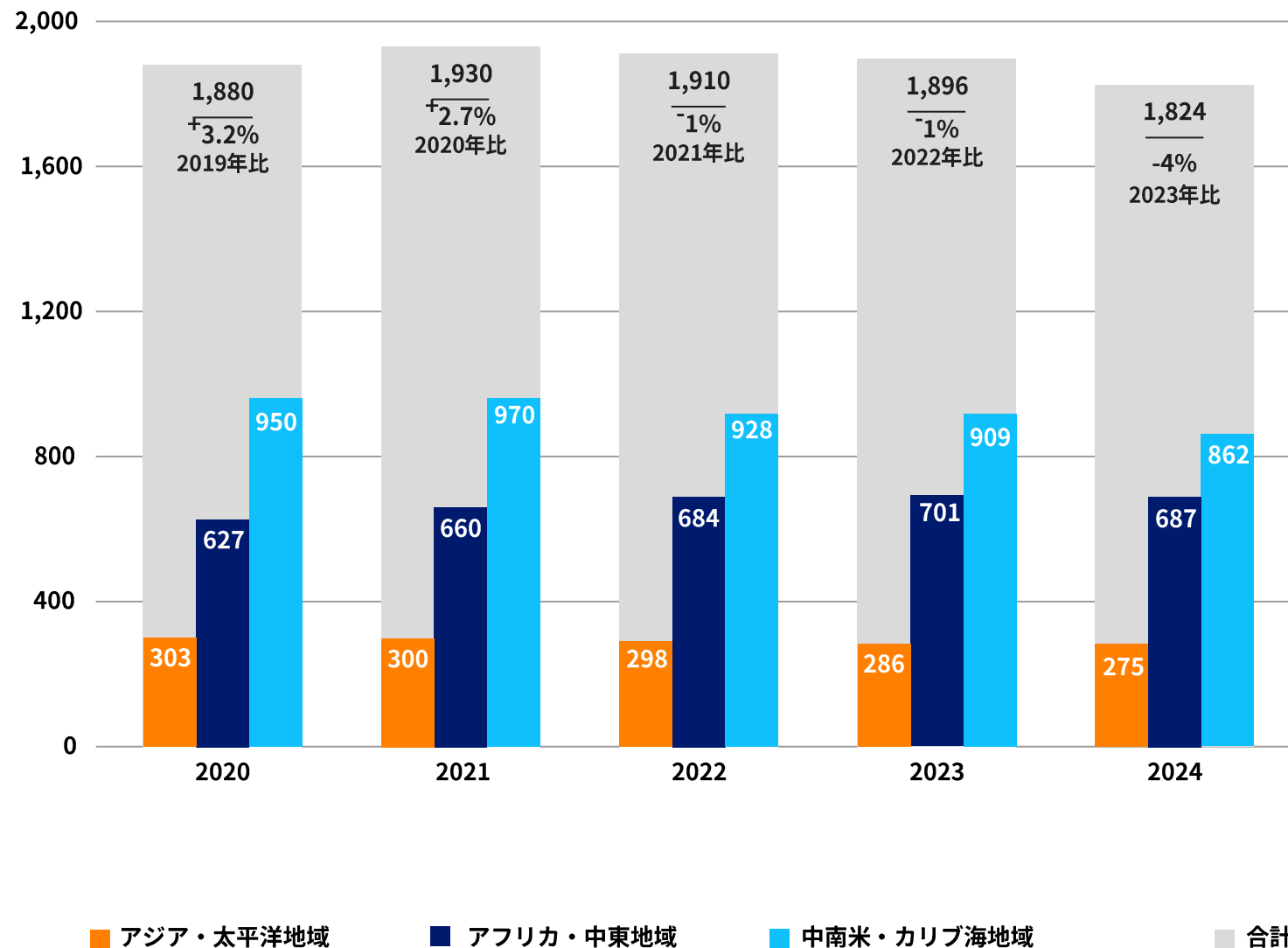
21% を労働者と家族のための金銭的
利益に充てている



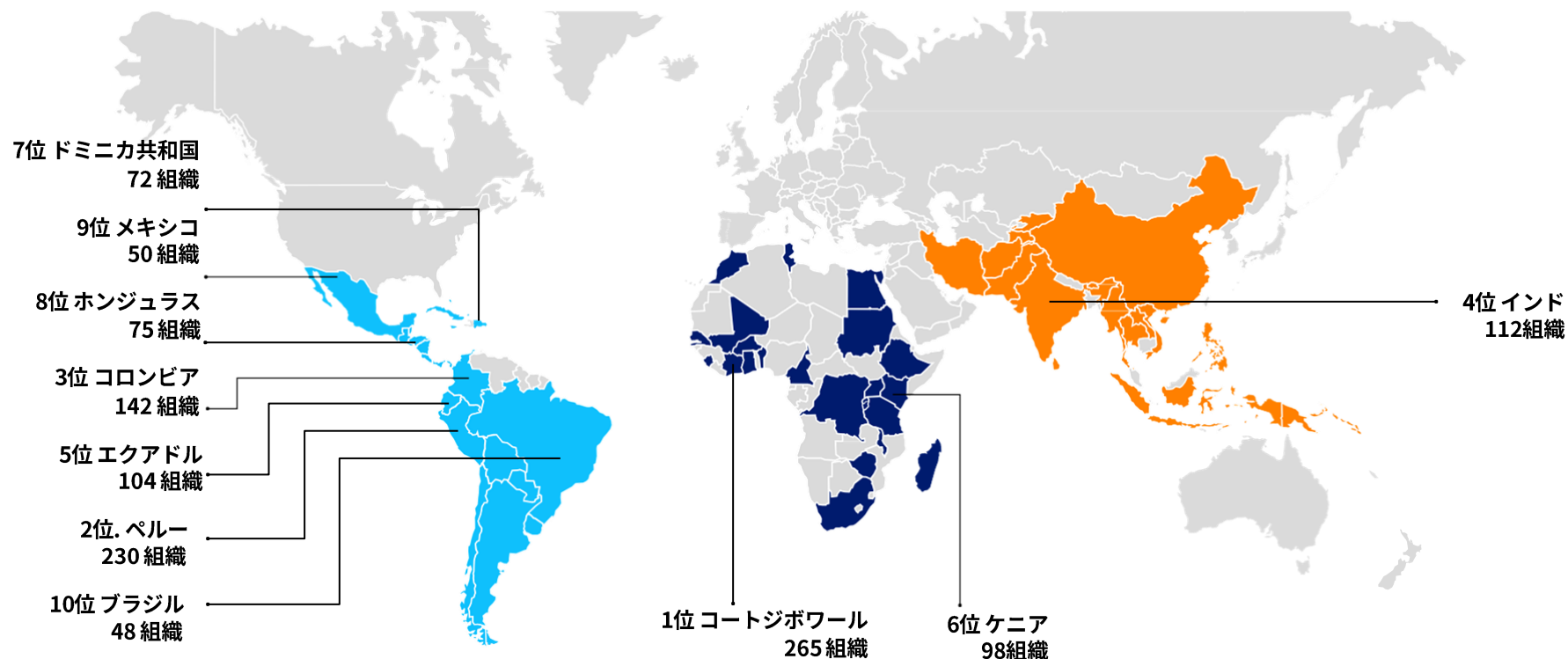
フェアトレード認証生産者組織数（2020-2024年）



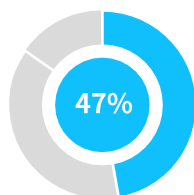
フェアトレード認証生産者組織の地域別推移（2020-2024年）



生産国とフェアトレード認証生産者組織の分布（2024年）

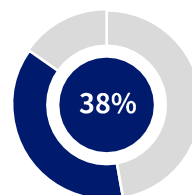


中南米・カリブ海地域



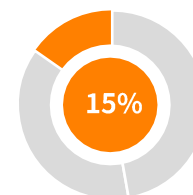
19カ国に
862の生産者組織

アフリカ・中東地域



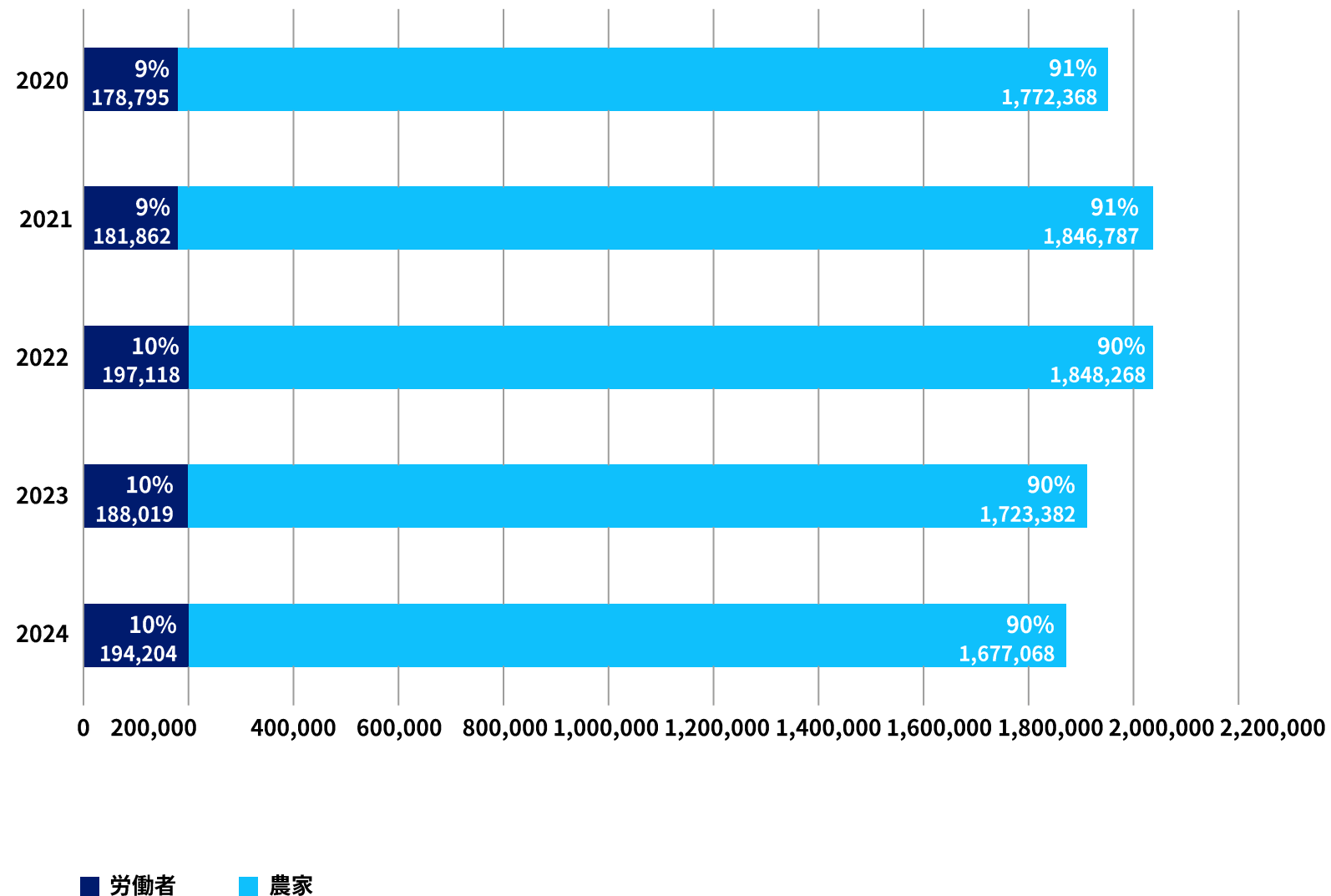
29カ国に
687の生産者組織

アジア・太平洋地域

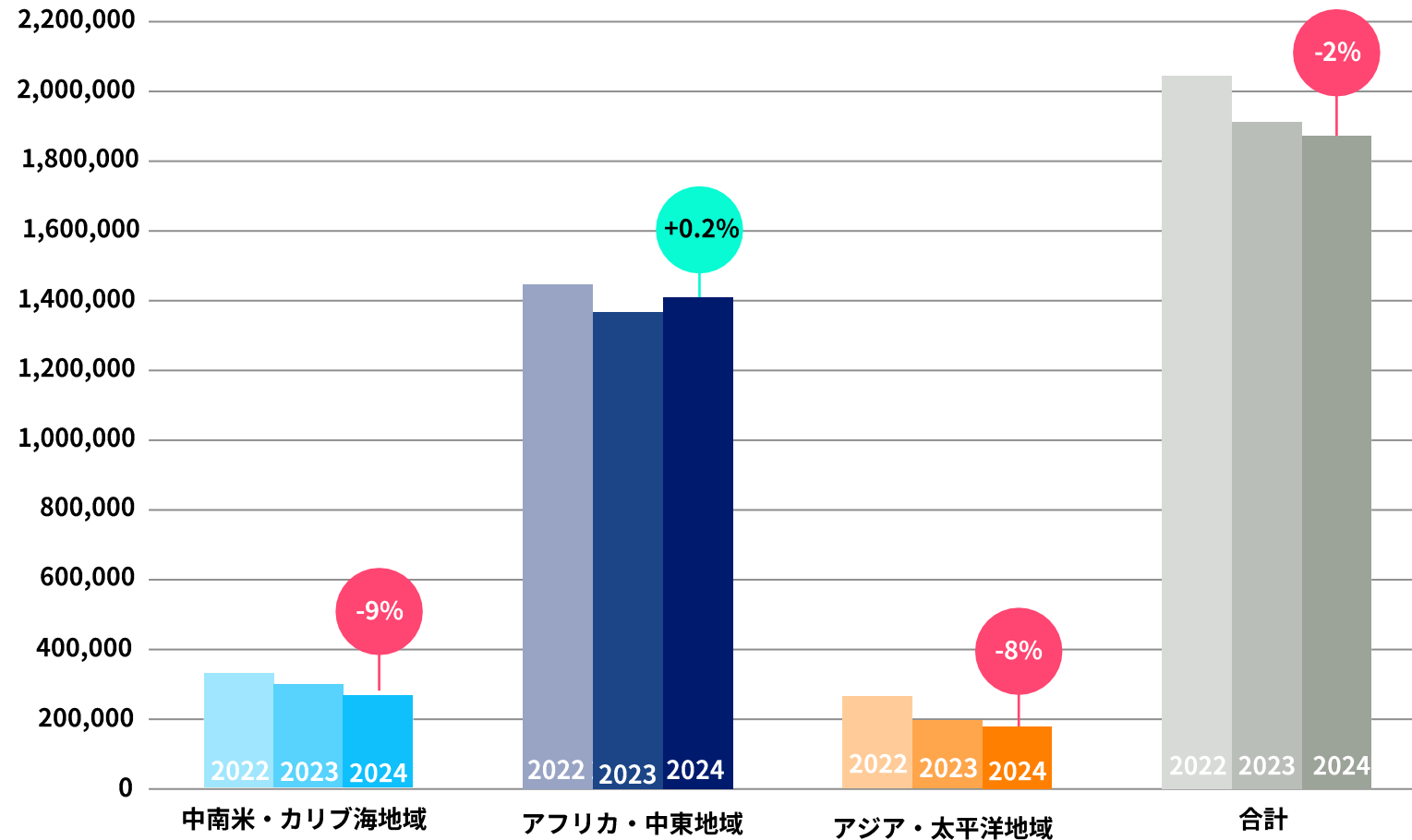


20カ国に
275の生産者組織

フェアトレード農家・労働者数の推移（2020-2024年）

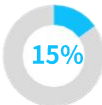
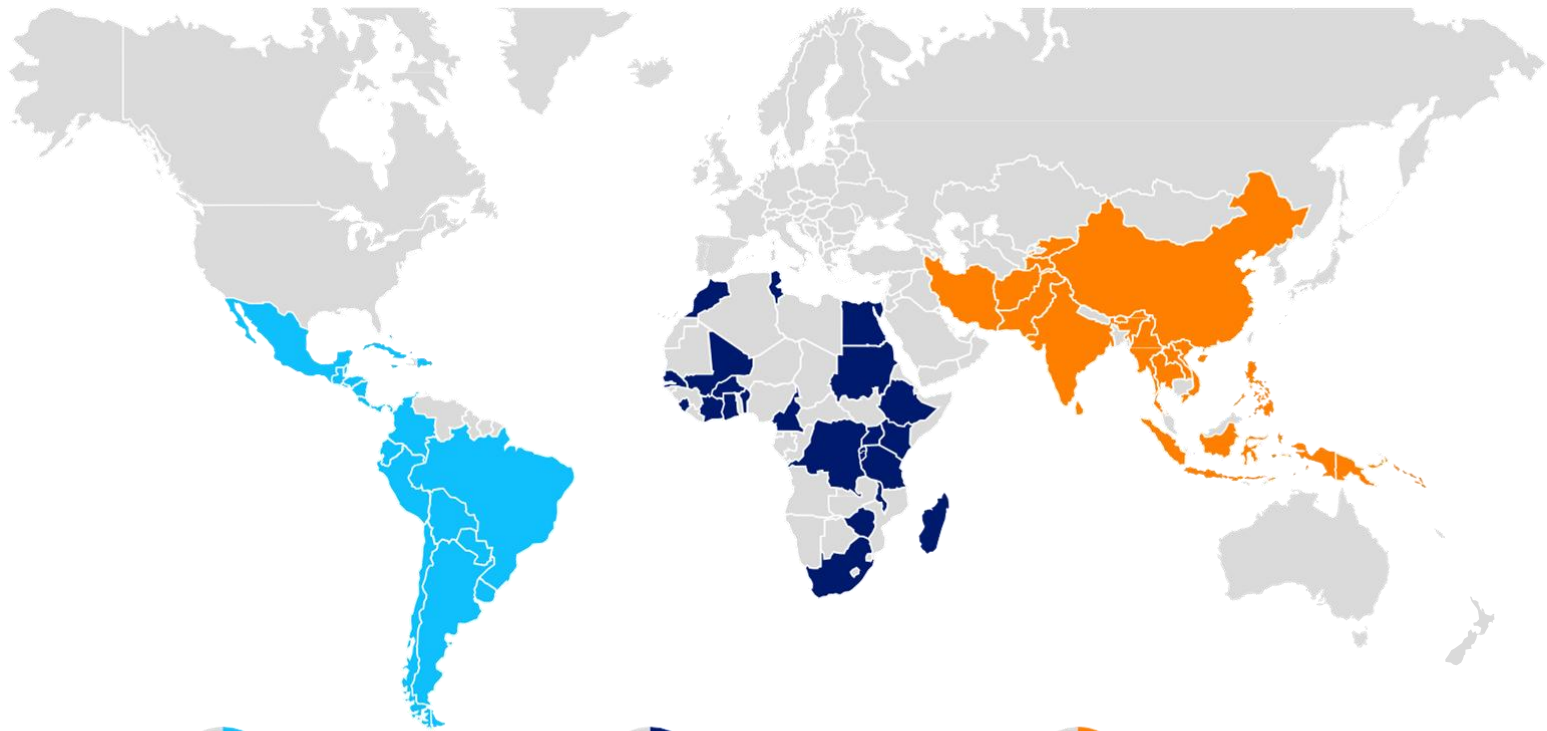


フェアトレード農家・労働者数の地域別推移（2022-2024年）

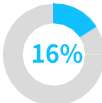


● 2023-2024年の変化率

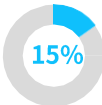
フェアトレード農家・労働者の分布（2024年）



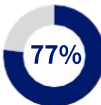
全農家に占める割合



全労働者に占める割合



全体に占める割合



全農家に占める割合



全労働者に占める割合



全体に占める割合



全農家に占める割合



全労働者に占める割合



全体に占める割合

	中南米・カリブ海地域	アフリカ・中東地域	アジア・太平洋地域	合計
フェアトレード農家	250,779	1,295,658	130,631	1,677,068
フェアトレード農園の労働者	31,316	114,504	48,384	194,204
合計	282,095	1,410,162	179,015	1,871,272

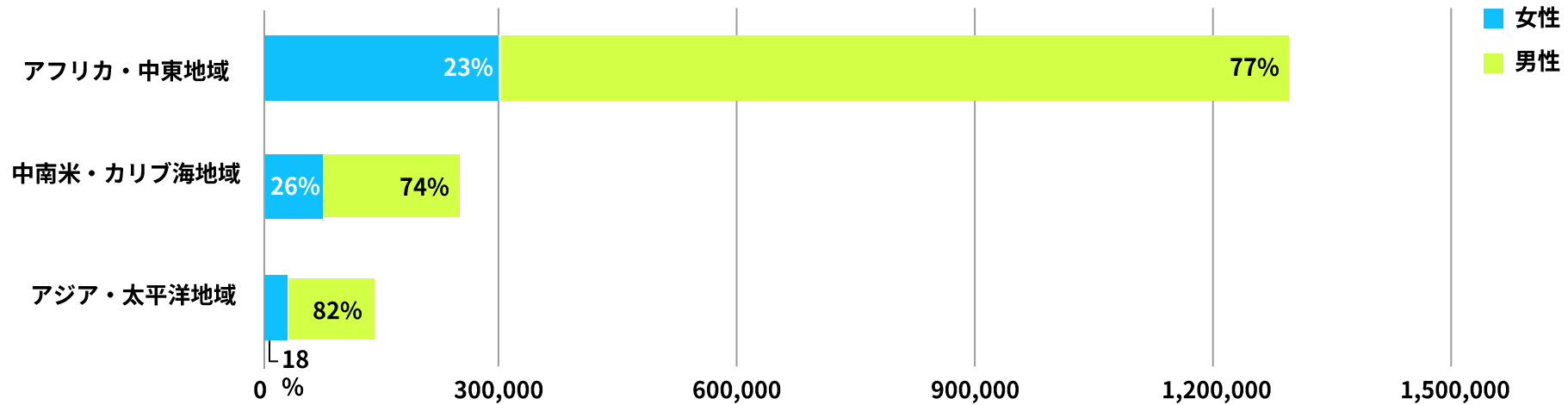
産品別・男女別フェアトレード農家・労働者の割合（2024年）

製品	農家総数	女性農家の割合
バナナ	5,866	26%
サトウキビ糖	47,639	24%
穀物	827	64%
ココア	508,112	15%
コーヒー	678,897	23%
コットン	36,985	22%
ドライフルーツ	536	18%
生鮮果物	5,670	13%
フルーツジュース	288	18%
金および関連貴金属	1,945	12%
ハーブ・ハーブティー・スパイス	22,655	25%
はちみつ	2,384	15%
ナッツ	41,347	36%
オイルシード・油脂果実	7,802	50%
米	15,524	13%
茶	294,938	37%
野菜	5,237	18%
ワイン用ブドウ	416	33%
合計	1,677,068	23%

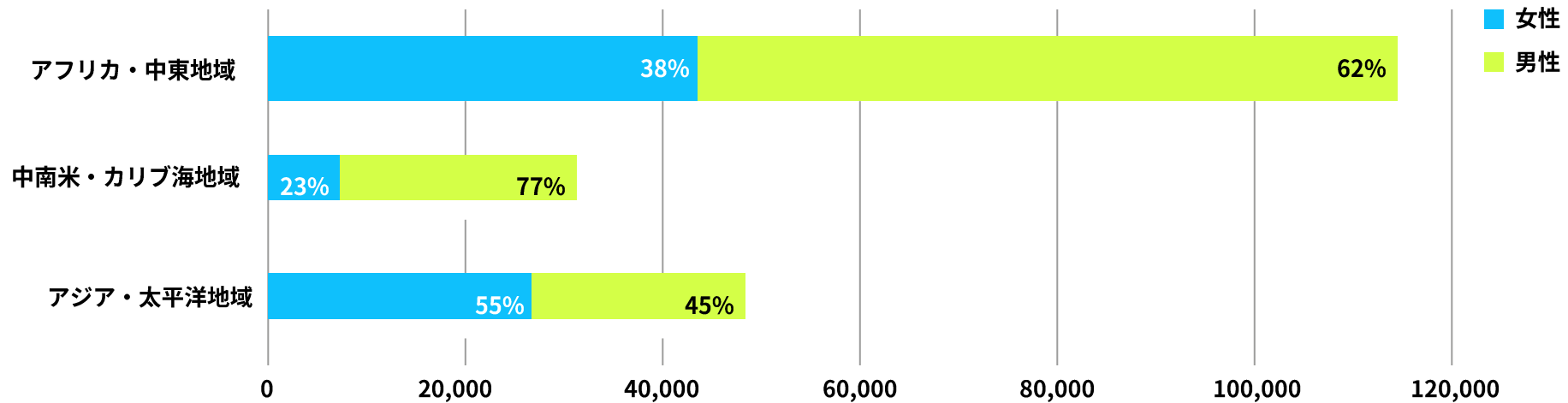
製品	総労働者数	女性労働者の割合
バナナ	29,650	19%
花・植物	79,152	40%
生鮮果物	15,527	43%
ハーブ・ハーブティー・スパイス	1,926	18%
スポーツボール	5,319	12%
お茶	52,281	55%
野菜	5,837	45%
ワイン用ブドウ	4,512	30%
合計	194,204	40%

地域別フェアトレードへの女性の参加状況（2024年）

小規模生産者組織における女性および男性農家の数



雇用労働組織における女性および男性労働者の数



フェアトレード製品の生産量（メトリックトン*）（2024年）

*特記のない限り



バナナ
1,234,916



カカオ
707,552



生鮮果物
631,504



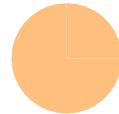
コーヒー
525,547



サトウキビ糖
480,506



茶
161,514



野菜
139,686



ワイン用ブドウ
137,964



**ハーブ・ハーブティー・
スパイス**
95,993



**オイルシード・
油脂果実**
89,026



米
78,914



ナッツ
69,819



コットン
40,119



はちみつ
5,641



フルーツジュース
3,463



ドライフルーツ
2,012



穀物
1,990



花・植物*
5,369,254,889本

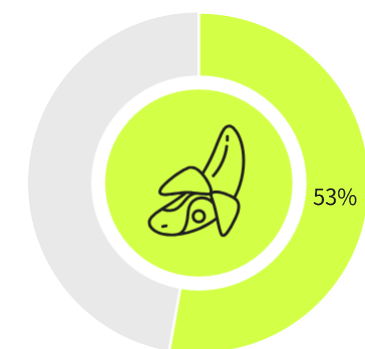


金および関連貴金属*
2,687 kg



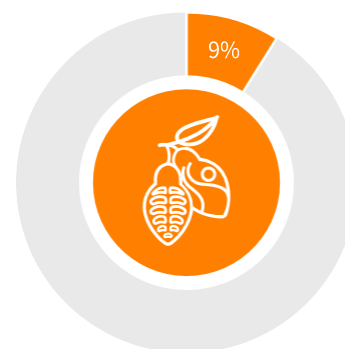
スポーツボール*
3,294,551個

フェアトレード産品上位6品目の有機栽培の生産量（メトリックトン）（2024年）



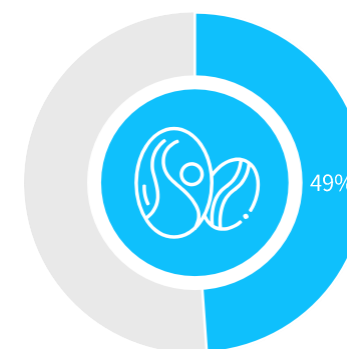
バナナ

■ 非有機 584,438 MT
■ 有機 650,479 MT



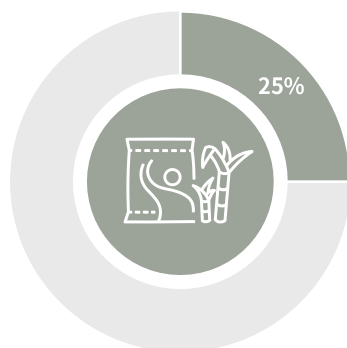
カカオ

■ 非有機 646,102 MT
■ 有機 61,450 MT



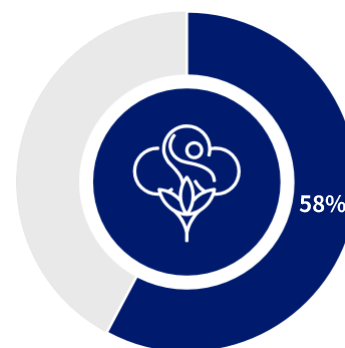
コーヒー

■ 非有機 267,898 MT
■ 有機 257,649 MT



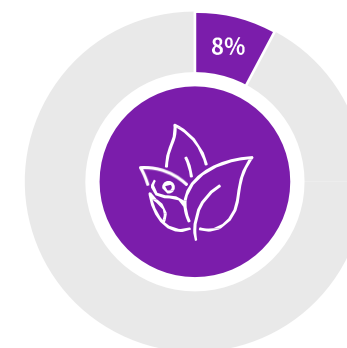
サトウキビ糖

■ 非有機 358,546 MT
■ 有機 121,960 MT



コットン

■ 非有機 16,867 MT
■ 有機 23,252 MT



茶

■ 非有機 148,878 MT
■ 有機 12,635 MT

有機農産物の売上、生産量、面積に関するデータは、2024年の国際フェアトレード認証製品のうち、上位6産品のみ検証されている。

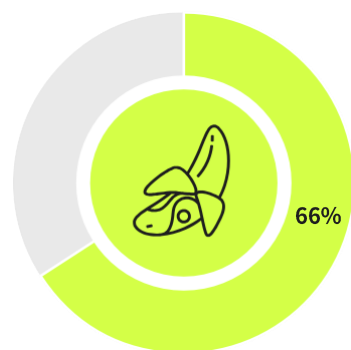
フェアトレード製品の製品別販売量（2024年）³

産品	量	単位 ¹
バナナ	711,201	MT
ココア	334,529	MT
コーヒー	142,413	MT
コットン ¹	4,962	MT
サトウキビ糖	143,112	MT
茶	7,410	MT
穀物	561	MT
ドライフルーツ	262	MT
生鮮果物	95,199	MT
フルーツジュース	1,413	MT
ハーブ・ハーブティー・スパイス	4,577	MT
はちみつ	1,628	MT
ナッツ	9,540	MT
オイルシード・油脂果実 ²	47,959	MT
米	18,626	MT
野菜	9,206	MT

産品	量	単位
花・植物	986,169,055	商品
金および関連貴金属	1,284	kg
スポーツボール	161,898	品目
ワイン用ブドウ	26,206	1,000リットル

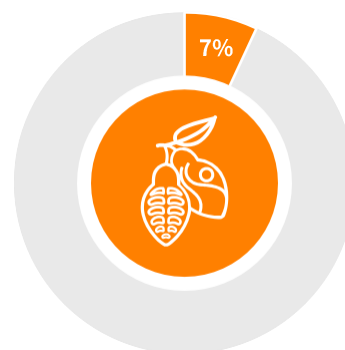
- 1. MT＝メトリックトン / 綿の数値はコットンリントベース。2024年のデータからデータレポートが変更され、過去3年間のデータは完全に比較可能ではないことから、ここでは過去3年間ではなく、1年分のデータのみを掲載している。この変更に関する説明については、26ページ参照。
- 2. このカテゴリーのレポートの大部分は、加工用または乾燥ココナッツの実そのものとして、ココナッツの実の個数で集計されている。現在、DSU（データ・スタンダード部門）が公式な製品定義と換算率の策定を進めている。それが完了するまでの暫定措置として、1個＝0.0012MTの換算率を適用する。公式定義の確定後、次回の報告サイクルにおいて算出方法および数値が改訂される可能性がある。
- 3. 販売量は、フェアトレード製品の生産量のうち、フェアトレード・プレミアムの保証などフェアトレードの条件で売買された量を示す。

フェアトレード産品上位6品目の有機栽培販売量（単位：トン）（2024年）



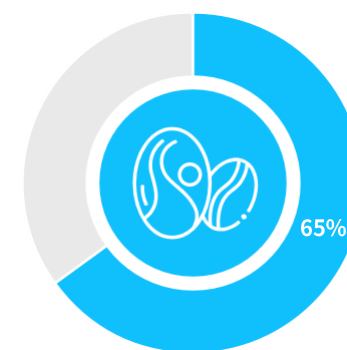
バナナ

■ 非有機 240,322 トン
■ 有機 470,879 トン



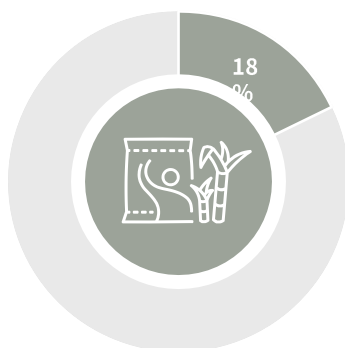
カカオ

■ 非有機 309,525 トン
■ 有機 25,003 トン



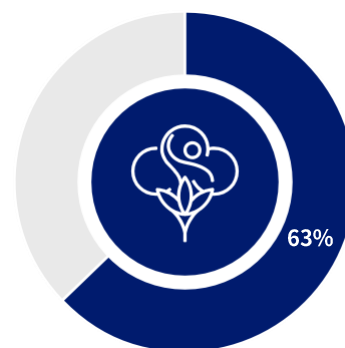
コーヒー

■ 非有機 50,381 MT
■ 有機 92,032 MT



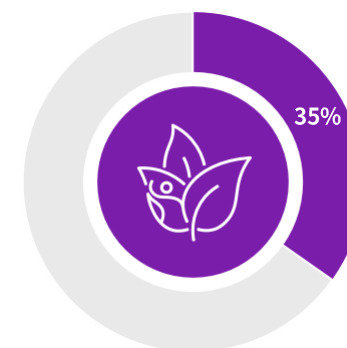
サトウキビ糖

■ 非有機 117,317 MT
■ 有機 25,794 トン



コットン

■ 非有機 1,859 MT
■ 有機 3,103 MT

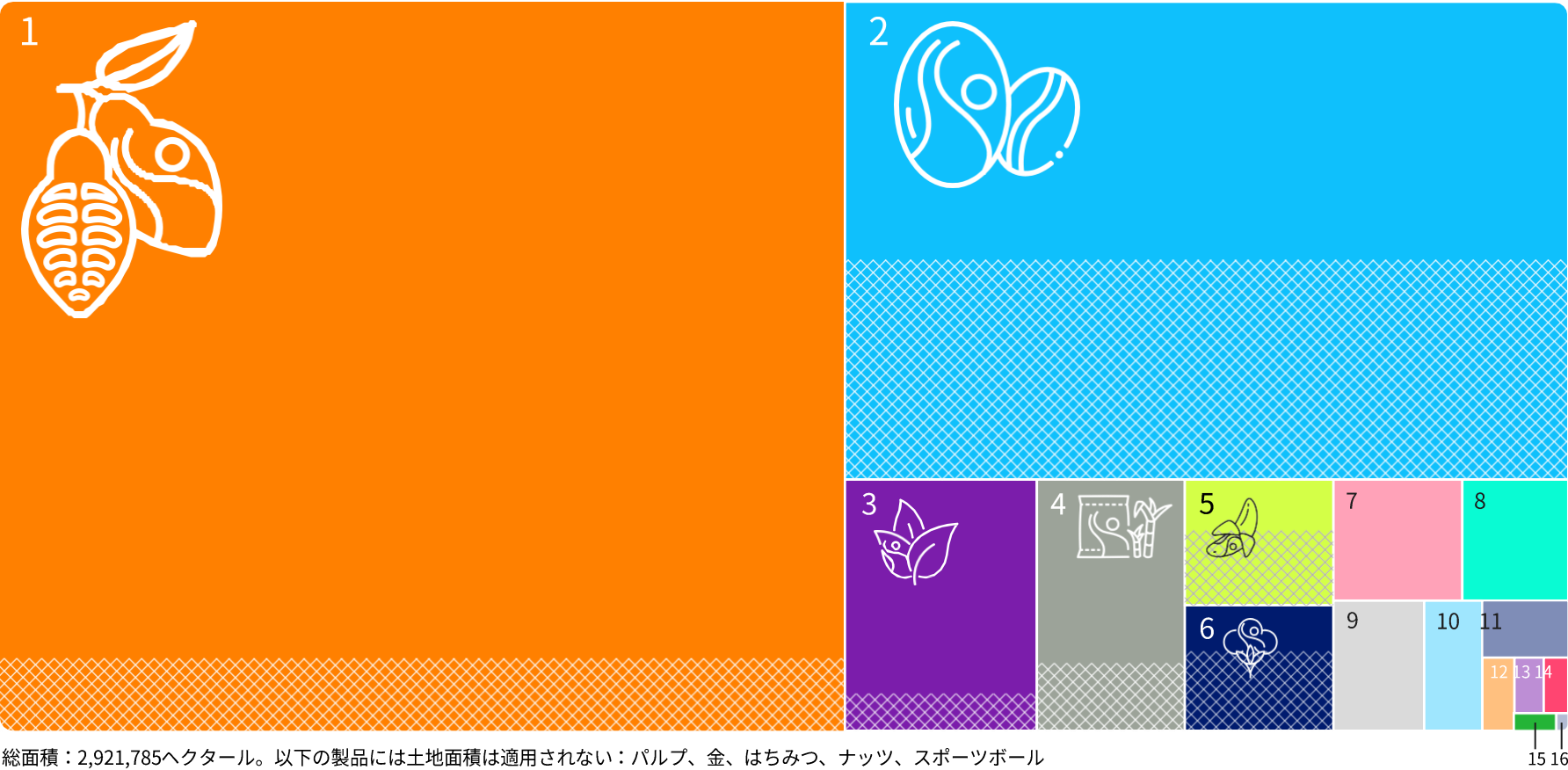


茶

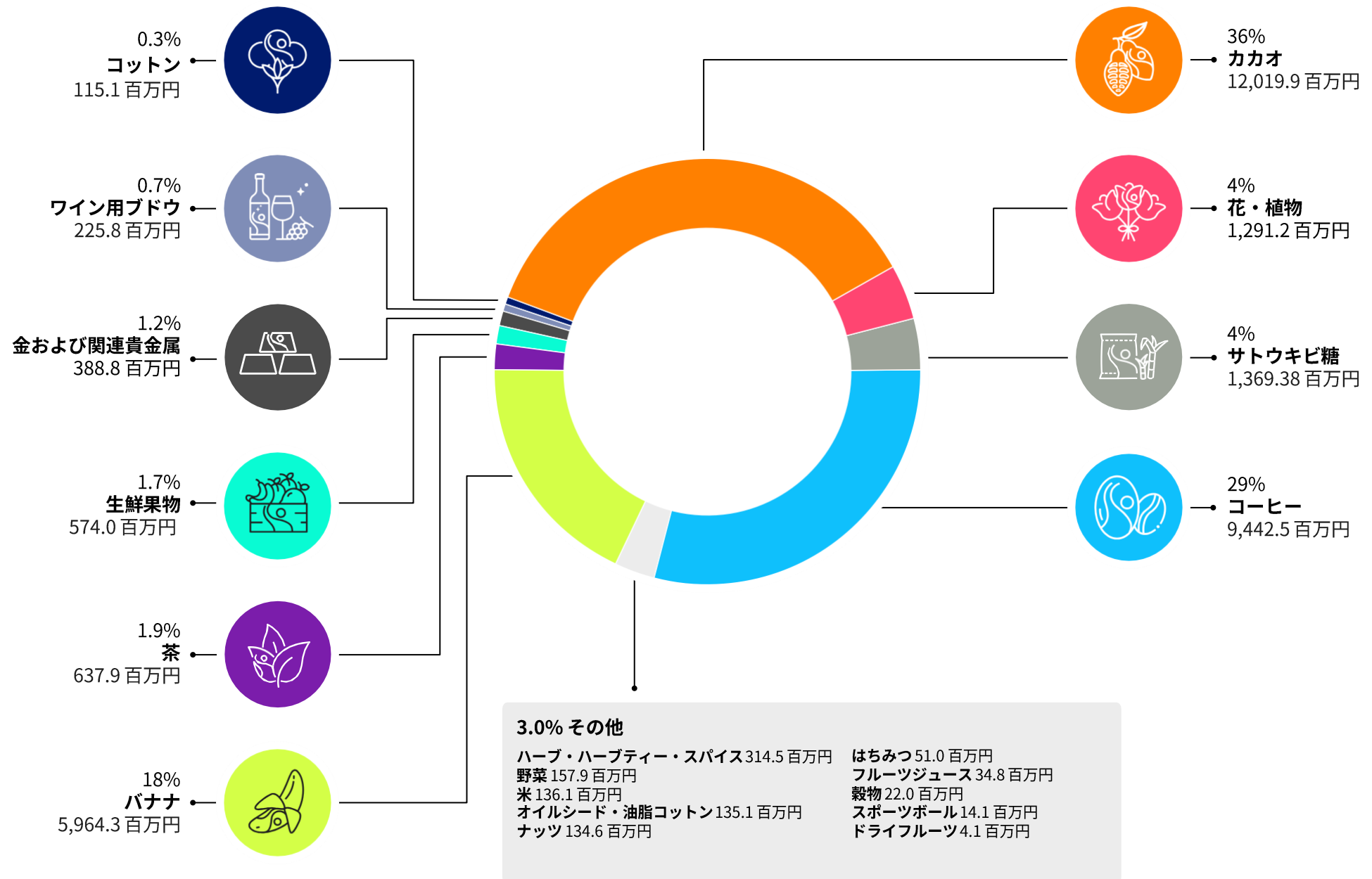
■ 非有機 4,829 トン
■ 有機 2,581 トン

有機栽培、生産、および面積に関するデータは、2024年のフェアトレード製品のうち、上位6品目についてのみ検証されている。
販売量は、フェアトレード製品の生産量のうち、フェアトレード・プレミアムの保証などフェアトレードの条件で売買された量を示す。

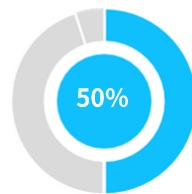
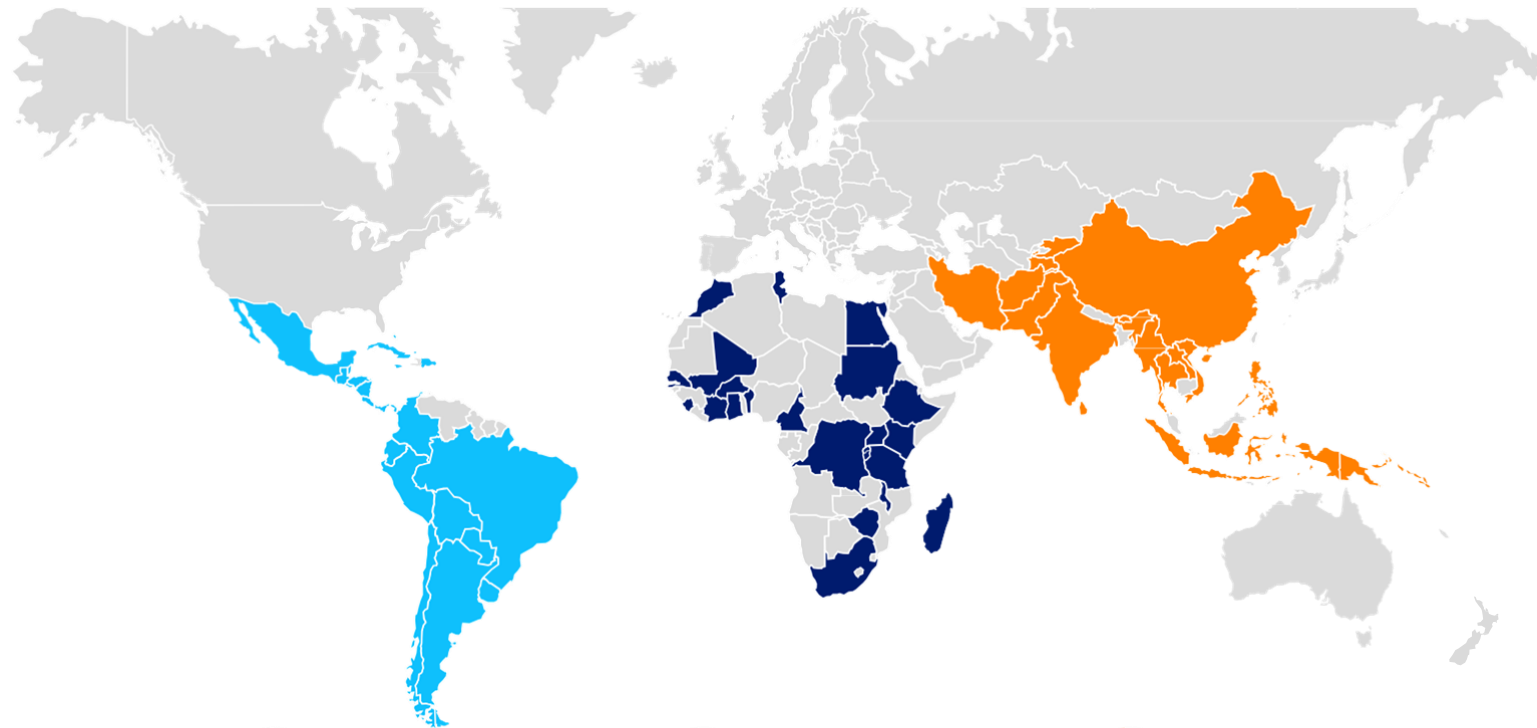
フェアトレード製品の総栽培面積（ヘクタール）（2024年）



産品別フェアトレード・プレミアム（2024年）

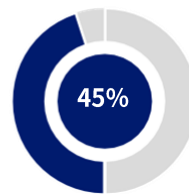


地域別・生産者組織の種類別フェアトレード・プレミアム（2024年）



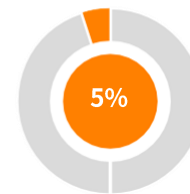
中南米・カリブ海地域

165.0億円



アフリカ・中東地域

147.8億円



アジア・太平洋地域

17.4億円

生産者組織の種類 プレミアム

小規模生産者組織(SPO) 273.8億円

労働者雇用組織(HLO) 56.4億円

プレミアム合計

330.3億円

フェアトレード・プレミアムのデータおよび分析の変更

フェアトレード・プレミアムは、生産者にとって最も重要な便益のひとつである。年間約2億ユーロにのぼるこの資金は、農家や労働者が自らの判断で、生活・事業・地域コミュニティへの投資に活用している。プレミアム資金の使途を把握することは、生産者の優先事項を理解する手がかりとなる。ただし、支出の結果や影響を示すものではない。

私たちは今回、変化する市場ニーズを取り込み、農家・労働者・地域コミュニティがプレミアム投資を通じて得られる便益をより明確に示すため、**フェアトレード・プレミアムの使用カテゴリー**を見直し、更新した。

主な変更点は以下の通り：

- 現代的な持続可能性の優先課題に対して、生産者のプレミアム支出がどのように貢献しているかを、より平易かつ明確な表現で示す。
- 気候変動や環境などの重要分野についてより深い洞察を得るため、サブカテゴリーを細分化した。たとえば、従来の「肥料の提供」というサブカテゴリーを「合成肥料またはその他の非有機肥料の提供」と「有機肥料の提供」の2つに分割し、責任ある情報開示に必要な詳細を把握できるようにしている。

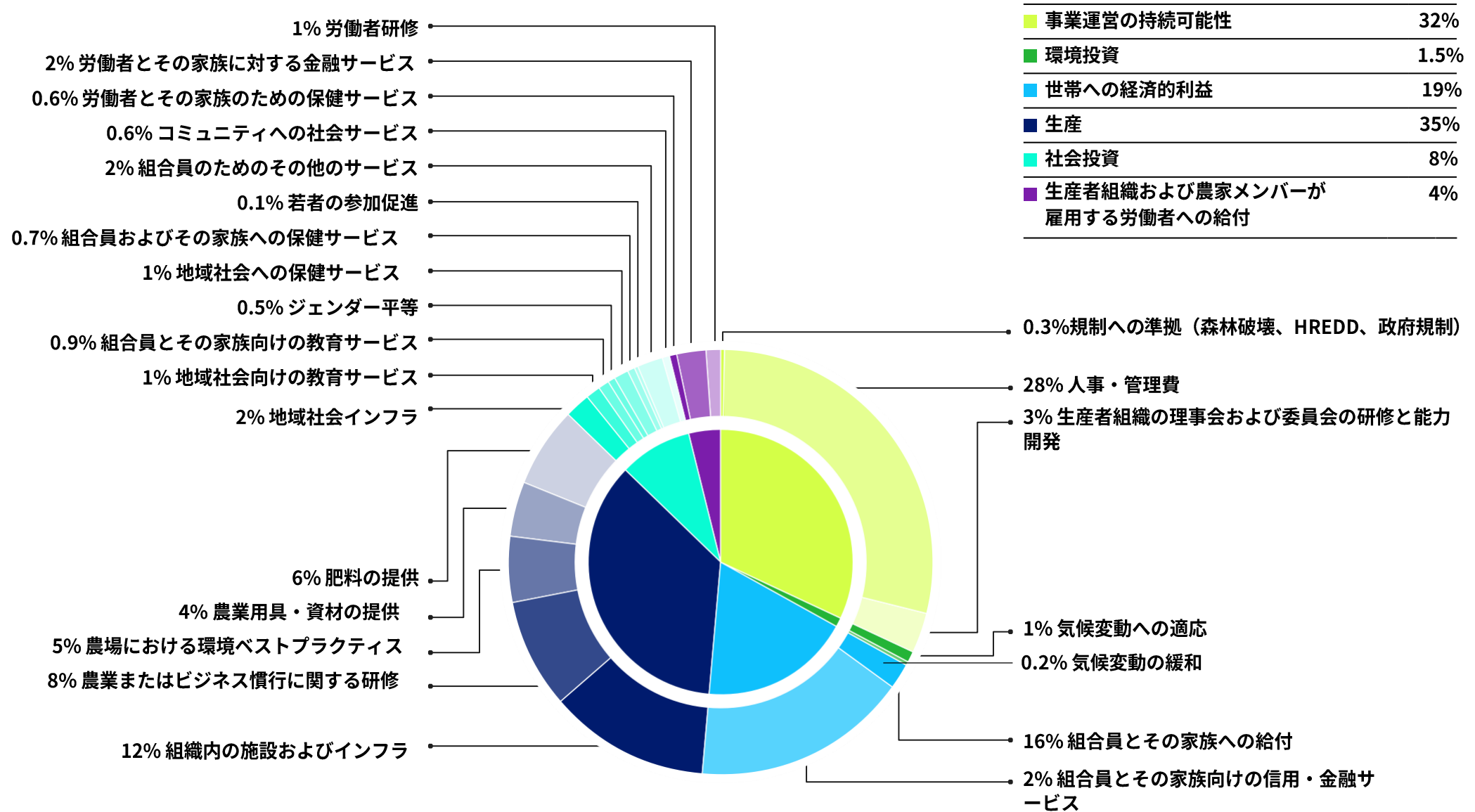
これらの新カテゴリーは、21・22ページ（それぞれ小規模生産者組織および雇用労働組織によるフェアトレード・プレミアムの投資状況）に反映されている。

さらに今回、フェアトレード・プレミアムの使途を分析するための新たな視点として、「**経済的利益**」と「**環境的利益（気候変動への対応を含む）**」の2つの分析軸を導入した。この分析はそれぞれ23・24ページに掲載する。この新しいマッピングにより、プレミアム支出の各カテゴリー・サブカテゴリーが、経済的目標および／または環境的目標を直接的・間接的に支援しているかどうかを分類することが可能になった。

この分析の目的は、**農家と労働者によるフェアトレード・プレミアムへの投資が、自身およびコミュニティの経済的・環境的發展にどれだけ幅広く貢献しているかを可視化することにある。**

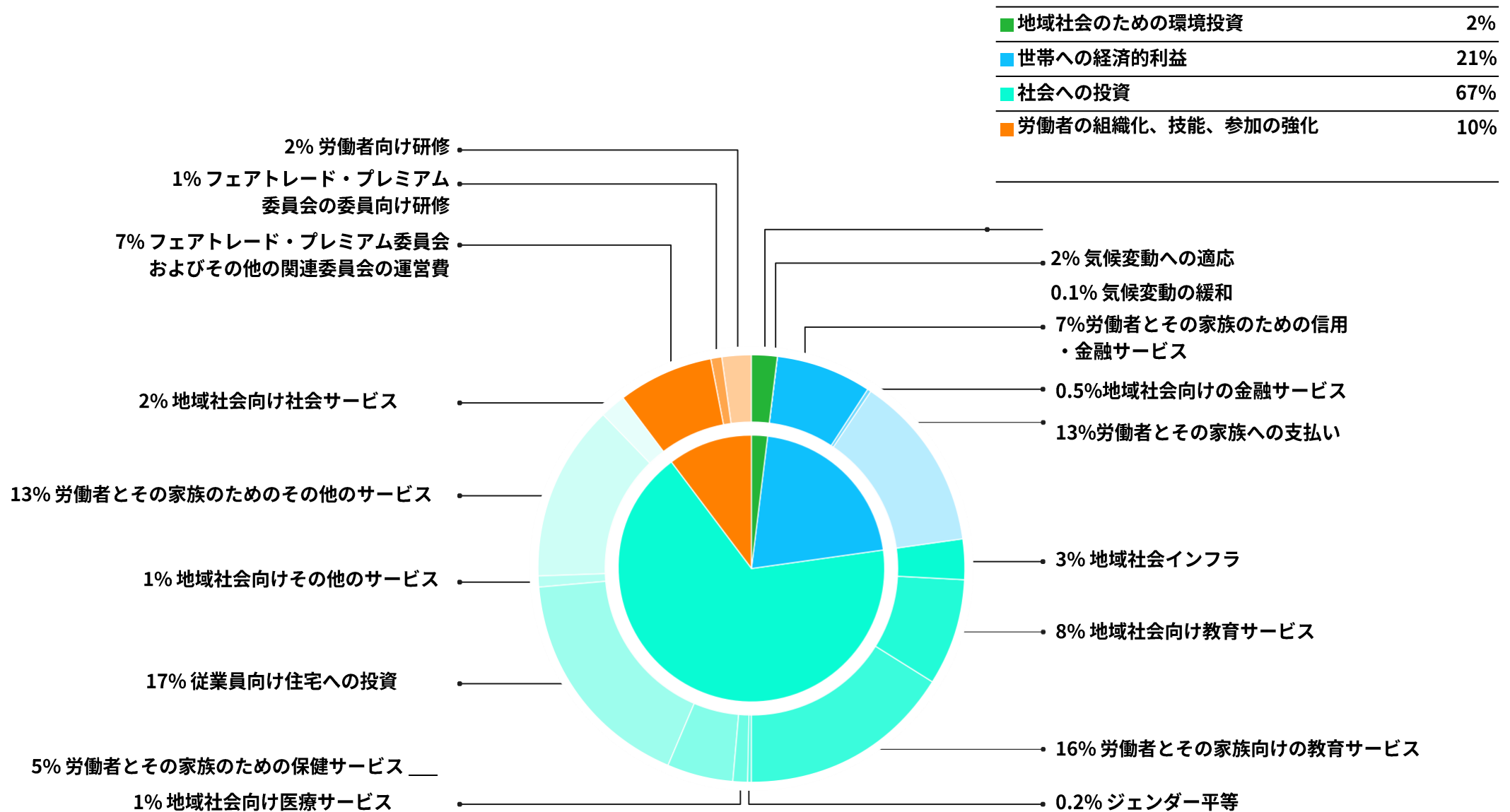


小規模生産者組織によるフェアトレード・プレミアムの活用（2024年）



生産者への投資における重要な分野をより適切に説明し、整理するため、フェアトレード・プレミアムの使用区分が更新された。
四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。「その他」など、0.5%未満の値を示すほとんどのカテゴリーは、グラフには表示されていない。

雇用労働者組織によるフェアトレード・プレミアムの活用（2024年）



四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。「その他」など、0.5%未満のカテゴリーはグラフに表示されていない。

フェアトレード・プレミアムが経済的利益に与える直接的および間接的な貢献



本分析では、直接的および間接的な経路を通じて、生産者や労働者の経済的福祉に寄与している、あるいは寄与していると想定できるかどうかに基づき、フェアトレード・プレミアムの使途をマッピングした。

小規模生産者組織（協同組合）と雇用労働者組織（大規模農場やプランテーション）については、農家と労働者の支出決定が異なるため、別々に分析した。

各プレミアムの利用サブカテゴリーは、より直接的な効果から間接的な効果へと順に列挙された、以下の予想される経済効果のいずれかに対応付けられる：

1) ■ 現金給付による世帯収入の向上（最も直接的な効果）；

2) ■ 家計支出の削減、あるいは多角化による収入の増加を通じて、家計収入を改善すること；

3) ■ 農業所得の向上（研修や病害虫に強い苗の提供などを通じた生産性や品質の向上、あるいは肥料の提供などを通じた農家の自己負担費用の削減）；

4) ■ 基本的なニーズを満たすための地域インフラの改善（清潔な水や教育などの間接的な利益）；

5) 市場への継続的なアクセスを維持するために必要な法令順守の支援（間接的な利益）；

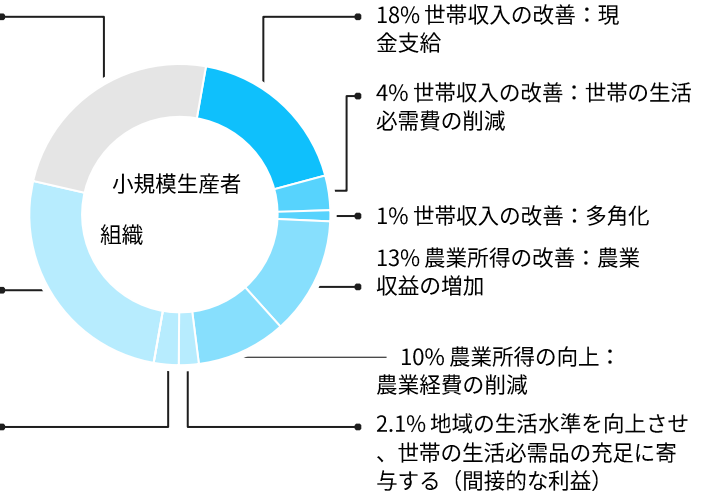
6) 生産者組織がメンバーに対して提供する、最終的に収益に影響を与えるサービスへの支援（作物の集荷、貯蔵、販売の円滑化に関連する費用など、間接的な利益）；または

7) ■ 経済的利益への寄与なし

24% 経済的利益の介入として分類されていない

26% メンバー向けサービスにかかる小規模生産者組織の費用（間接的な利益）

2.7% 規制順守と環境衛生を支援することで、生計の維持に貢献する（間接的な利益）

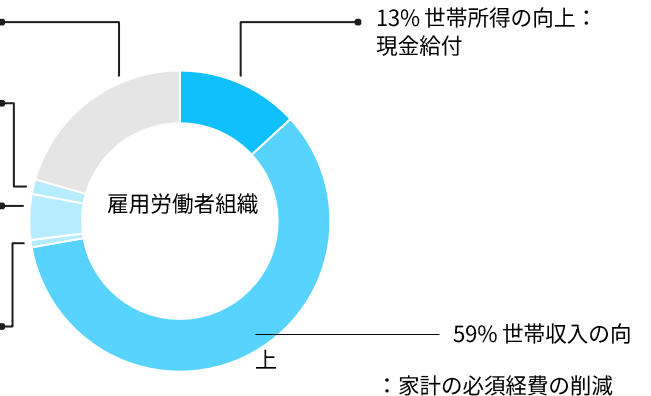


21% 経済的利益をもたらす介入として分類されていない

0.8% 世帯収入の改善：多角化

4.9% 世帯の生活必需品のニーズを満たすことに寄与するための地域社会の生活水準の向上（間接的な利益）

1.6% 規制順守と環境衛生の支援を通じた生計維持への貢献（間接的な利益）



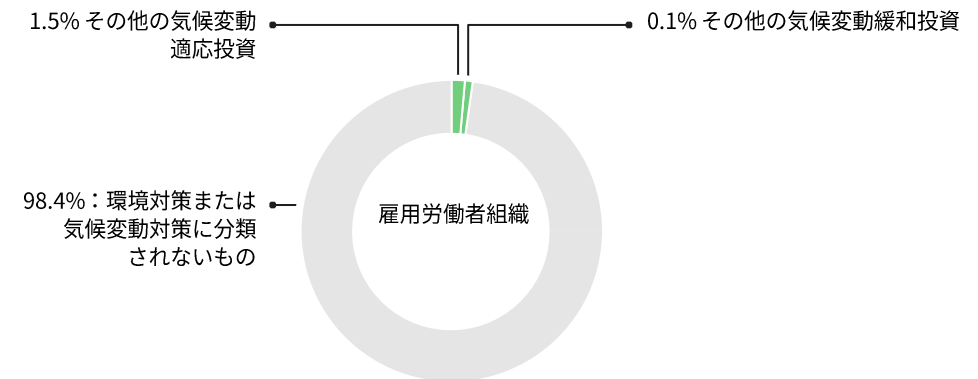
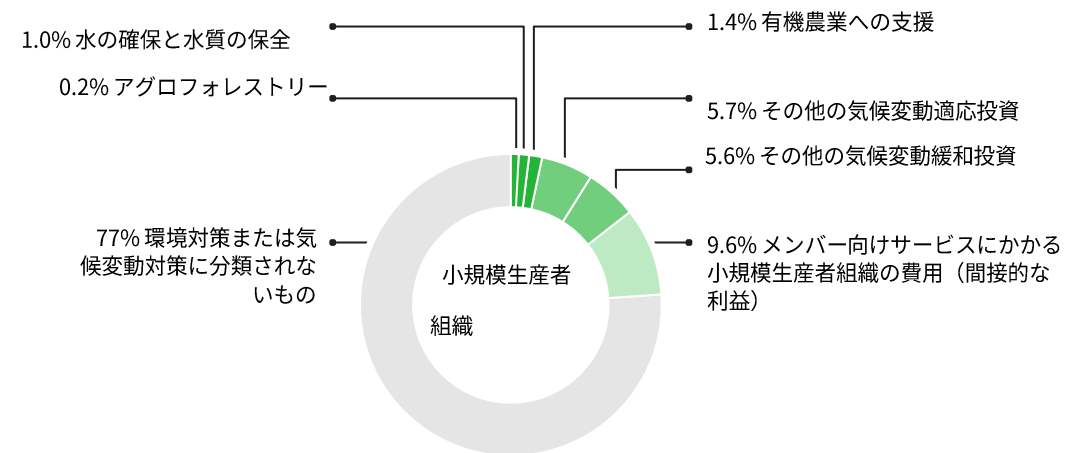
気候変動へのレジリエンスを含む環境的利益に対するフェアトレード・プレミアムの直接的および間接的な寄与



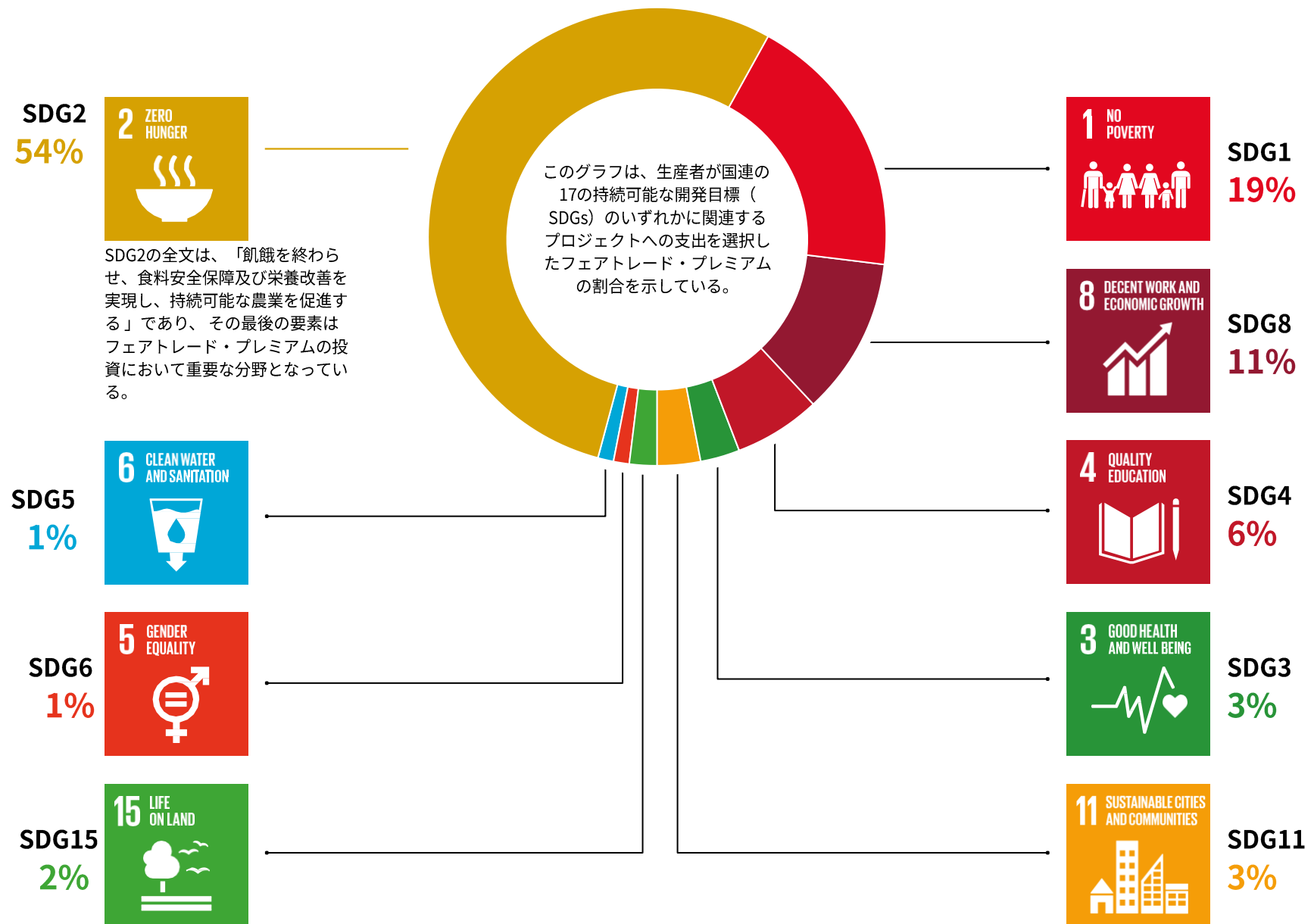
本分析では、フェアトレード・プレミアムの支出について、直接的および間接的な経路を通じて、**環境上の利益や気候変動への耐性に寄与しているか、あるいは寄与していると想定できるかどうか**に基づいて分類した。支出水準が大きく異なるため、小規模生産者組織（協同組合）と雇用労働者組織（大規模農場やプランテーション）を別々に分析した。これは主に、以下の事実によるものである。

これは、プランテーション経営者が農場への投資に責任を負うのであって、労働者ではないこと、また、雇用労働者組織が獲得したプレミアム資金は、労働者自身のために活用されることを意図している。プレミアムの用途ごとのサブカテゴリーは、より直接的な影響から間接的な影響へと順に列举された、以下の予想される環境効果のいずれかに割り当てられた：

- | | |
|---|---|
| 1) ■ アグロフォレストリー手法
（作物の多様化や混作など）の導入または拡大 | 5) ■ その他の気候変動適応策 （作物の品種転換や土壌の健全性の向上など）； |
| 2) 生物多様性の保全または向上 （受粉媒介者の保全や生態学的回廊の整備など） | 6) その他の気候変動緩和策 （森林伐採の防止やクリーンエネルギー源への転換など）； |
| 3) 水資源の確保と水質の維持 | 7) ■ 生産者組織がメンバーに対して提供する、最終的に環境の健全性に影響を与えるサービスへの支援
（ベストプラクティスに関する研修費用や、環境リスクの評価・緩和のための生産者組織の内部管理システムなど、間接的な利益）；
または |
| 4) 有機農業の支援 （有機資材の購入や有機認証の費用など） | 8) ■ 環境上の利益への寄与がないもの |



フェアトレード・プレミアムの「持続可能な開発目標（SDGs）」に貢献する使途



四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。

本レポートのデータについて

本レポートにおけるモニタリングは2つのデータソース：FairtraceとCODImpactから成ります。

Fairtraceは任意の1年におけるフェアトレード・プレミアムペイヤーの全ての取引が保存されています。支払われたフェアトレード・プレミアムおよび上位7品目の製品の売上高（バナナ、カカオ、コーヒー、コットン、花・植物、糖および茶）がFairtraceを通じて報告されます。

CODImpactモニタリングの一連データには、監査において生産者組織から収集されたデータを含みます。全ての生産者組織が任意の1年における監査対象になるわけではないため、その場合、直近の入手可能なデータが利用されます。

CODImpactは生産量、耕作面積、農家・労働者数およびフェアトレード・プレミアム用途のデータソースです。またFairtraceの対象外とされるその他すべてのフェアトレード売上高およびプレミアムデータのソースでもあります。

データは幅広くチェックされ、クリーニングされています。ただし、このような規模のプロジェクトのモニタリングにおいては、以下のような不正確な部分が存在する可能性があります。

- ・ フェアトレード認証生産者組織からの情報が、品質上の理由で考慮されず、欠落している可能性。
- ・ 認証生産者組織からの一部のアンケートにおいて監査人から報告されなかった情報が欠落している可能性。
- ・ 不適切なデータや検証されていないデータが存在する可能性。
- ・ 今後、新たな報告書の受領や継続的なデータ品質のチェックの結果、データが変更される可能性。
- ・ 認証組織数は、年度末時点における以下のいずれかの認証状況にある生産者組織が、認証生産者組織数として数えられます：認証取得（Certified）、認証一時停止（Suspended）、仮認証（Permission To Trade）

フェアトレード認証生産者組織との間の秘密保持契約に基づき、データは集計形式でのみ公表が可能です。データの表示には制限があり、個別の生産者組織、フェアトレード・プレミアムペイヤーまたはトレーダーに属する機密情報は一切公開されません。また各国内に存在するフェアトレード認証生産者組織が3つ未満で市場の機密情報が推測可能な場合にも、生産者組織の集計データは公表されません。

フレッシュジュースや果肉、ドライフルーツは、生鮮果物の加工後の二次製品です。生産者がその年に実際にどのような形状で販売するかによって、報告される産品カテゴリーは年によりが変動することがあります。

免責事項

フェアトレード・インターナショナルはデータの正確性について責任を負いません。本レポートは、知る限りにおいて編集され、情報提供のみを目的としています。

フェアトレード・インターナショナルは、新情報の入手が可能になった場合、モニタリングデータを更新する権利を留保します。

データの品質チェックが継続的に実施されるため、表示されるデータは今後のレポートで変更される場合があります。提供されるデータは「現状有姿」で、データの正確性や信頼性についてのいかなる保証もいたしません。フェアトレード・インターナショナルは、法律の許す範囲において、データの質や完全性に関するいかなる請求や損害に対しても責任を負いません。



FAIRTRADE
INTERNATIONAL

Bonner Talweg 177, 53129 Bonn, Germany
TEL: +49 (0) 228 94 92 30 FAX: +49 (0) 228 24 21 713
info@fairtrade.net www.fairtrade.net/en

フォトクレジット

表紙および20ページ：© Fabian Sturm; 2ページ：© Eliška Kratochvílová